

《夏場の栽培ポイント》

1. 遮光ネット

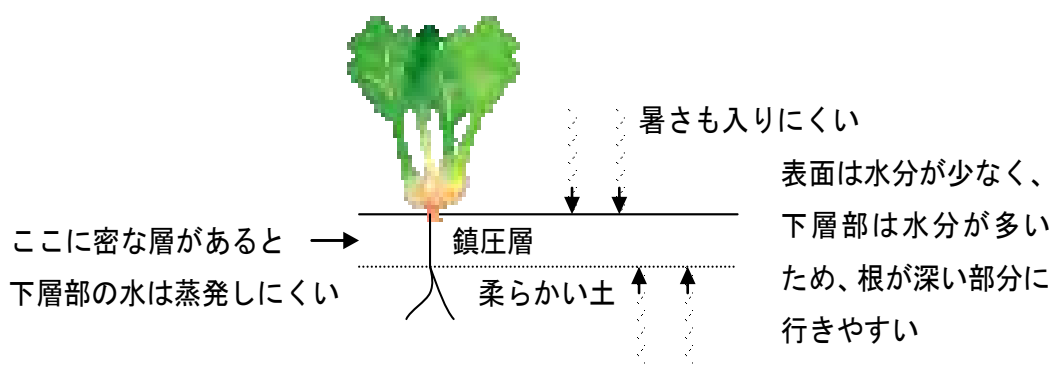
（夏場の光量は、十分すぎるくらいあります。光の量をコントロールして庫内温度を下げましょう）

2. 鎮圧

（表面層が、柔らかすぎると過乾燥になり、温度が上昇しやすくなります。鎮圧することにより、水分コントロール、温度上昇を和らげます）

3. 団粒化

（根が呼吸しやすい環境を作ることにより、根がストレスに強くなります。）



団粒構造がある土で有れば、栽培はしやすくなります！

■乾燥害



注意点：

- コフナ施用後10日程度播種まで期間をあけて下さい。
- 根にストレスがかかりやすい時期は、酸素法師5号を播種前に土壌混和して下さい。
- 分解しにくい粗大有機物（バーク、チップなど）が既に土壌に入っている場合は、分解を促進し早急に腐植化させます（窒素飢餓、分解ガス発生）
急激な分解の予防には酸素法師5号を散布して下さい。